

弘法大師著作研究会

○平成七年度は十一月に『定本弘法大師全集』第九卷、平成八年一月に同首巻を上梓した。第九卷には京都高山寺所蔵『篆隸万象名義』(六帖、国宝)を影印で収録した。本書は既に複数の影印本が刊行されているが、本全集所載のものは、中でも書影が鮮明なのではないかと自負している。巻末には京都大学人文科学研究所助教高田時雄氏の有益な解説を得た。首巻は最末に刊行すべき所、諸般の事情により第八回の配本となった。内容は松長所長の序、図版、総目次、総凡例、弘法大師略年譜等で、図版(六十八点)や年譜は弘法大師の著作を読む上で、一層の理解を資けるものとなるう。

末刊の第六卷(『文鏡秘府論』他)・第八卷(『性靈集』他)・第十卷(索引)については、平成八年度中に完結の予定である。

○平成七年度の聖教調査は下記四カ所に於いて行なつた。調査にあたり、御協力を賜つた所蔵者並びに関係各位には、改めて甚深の謝意を表する。

平成七年度調査典籍

二 醍醐寺(8・20、21) ※最下段は函・典籍番号
東寺講堂諸尊配置図 一通 鎌倉時代写 400・176

一 東京国立博物館(文化庁分室、9・27、28)
遍照發揮性靈集 巻第一・二 一卷 院政期写
(重要文化財『日本書紀卷第十応神記』紙背) (武内孝善)

伝法灌頂昼式次第 一帖 建長2年写 424・1

両部大灌頂作法 一帖 〃 写 424・2

伝法灌頂私記 一帖 〃 写 424・3

大師伝法灌頂私記 一帖 〃 写 424・4

大師雜秘記 一帖 〃 写 424・5

大日経疏并胎藏大次第 一帖 〃 写 424・6

弘法大師伝口決 一帖 南北朝期写 446・22

大師御伝断簡 一帖 鎌倉初期写 461・63 (武内孝善)

三 東寺(観智院金剛藏、8・31) 9・2) ※最下段は函・典籍番号
真言付法血脈図勅修寺 一卷 鎌倉末期写 118・4

性靈集巻第一 一帖 院政期写 139・3

性靈集要文 一帖 鎌倉後期写 139・4

天台血脈 一卷 鎌倉中期写 290・1

三国相承秘密伝法二門血脈 一卷 鎌倉末期写 290・5

惠果和尚碑文 一卷 平安末期写 別1・10

東寺血脈小野(本・末) 二卷 文和2年写 又別22・24 (武内孝善)

四 仁和寺(9・4) 6) ※最下段は函・典籍番号
御室相承記 六卷 鎌倉初期写 別

遍照發揮性靈集 五帖 鎌倉初期写 御12

ソング目六 一卷 暦心3年写 御41

秘作法部 七卷 南北朝期写 御41

雑要鈔禪覚 十冊 寛永14年写 御65

雑要鈔心覚 五冊 江戸初期写 御65

雑々	十五種	写	御66
金剛界念誦次第覚教校合本	二卷	建仁2年写	御68
金剛界念誦次第草本	二卷	建仁2年写	御68
寛平御遺誠殘篇	一冊	明和9年写	御79
寛平御遺誠殘篇	一冊	天保5年写	御139
伝法灌頂相承血脈	一卷	鎌倉後期写	塔24
野沢血脈	二卷	鎌倉末期写	塔24
広血脈	四帖	江戸時代写	〃
血脈小野	一冊	江戸時代写	〃
円城寺八巻次第	八帖	嘉応二年写	塔27
円城寺四巻次第	四帖	江戸時代写	塔96
三十帖子細	一冊	江戸時代写	塔140
悉曇字記	一帖	弘安3年刊	御81
唐梵文字全真	一冊	寛政3年写	塔93
翻梵語卷第九	一冊	〃 写	〃
悉曇摩多体文	一帖	寛文8年刊	〃
中天相承悉曇羅率親	一冊	江戸時代写	〃
中天相承悉曇要領集記	一冊	〃 写	〃
唐梵文字	一冊	〃 写	〃
梵文左行 道空記	一冊	〃 写	〃
切字要法	一冊	〃 写	〃
悉曇章 首題鈔	一冊	〃 写	〃
悉曇	一冊	室町末期写	〃
摩多体文宝月伝	一紙	明和五年写	〃
シタン南天竺用音梵王相承	一帖	江戸時代写	〃
シタン摩多体文	一冊	〃 写	〃
摩多体文	一帖	元禄7年写	〃

悉曇摩多慈照

悉曇印信山初同血脈

南天シタン十八章建立事

梵書 種字真言等

悉曇雜々

悉曇習字

悉曇習字

悉曇習字

(武内孝善)

平成七年度研究所活動報告

講演会

平成七年度密教文化研究所學術講演会が高野山大学内において連続五回にわたり左記の日程で開催されました。本学学生を中心とした聴衆の熱心な聴講をえました。

○第一回講演 平成七年九月二十六日

森 雅秀「オリッサ州カタック地区の密教遺跡の現状」

○第二回講演 平成七年十一月七日

乾 仁志「『初会金剛頂経』所説のマンダラについて」

○第三回講演 平成七年十二月五日

武内孝善「弘法大師の家系について」

○第四回講演 平成七年十二月十二日
下松 徹「定印弥勒像の図像学的考察」

○第五回講演 平成八年一月十六日
松長有慶「呪法と大乘思想」

見学会

密教文化研究所共同研究「日本の密教美術の現地見学と研究」の一環として、四回にわたり密教美術見学会を開催いたしました。

○第一回 平成七年五月九日 於京都国立博物館
京博春期特別展「東寺国宝展」見学

○第二回 平成七年五月十九日 於奈良国立博物館
奈良博開館百年記念特別展「日本仏教美術名宝展」に出陳の密教美術を見学

○第三回 平成七年六月二十八日 於高野山南院ならびに霊宝館
南院・波切不動明王立像御開帳にあたり拝観
霊宝館企画展「顕教の仏」見学

○第四回 平成七年十月十一日 於高野山霊宝館
霊宝館企画展「高野山と浄土」見学

平成七年度研究所教員研究業績

村上保壽

○著作

『密教と現代』高野山出版社 一九九五年十一月 一七二頁。
『空海と智の構造』東方出版 一九九六年二月 二六二頁。

○論文

「五大願における誓願の思想」日本仏教学会年報六〇号 一九九五年五月
二二七—一四〇頁。

○口頭発表

「空海と道家思想」第三八回印度学宗教学会 一九九五年六月。

○その他

「密教と環境問題」高野山真言宗布教資料三二号 一九九五年五月 三〇頁。

「真言密教に問われるもの」(共著)高野山真言宗布教資料三三号 一九九五年九月 五七—七五頁。

「宗教と人権」人権啓発推進資料⑫ 高野山真言宗同和局 一九九六年三月 七六頁。

武内孝善

○校訂・解説

「石山寺藏『禅林寺内供宮灌頂日記 諸師灌頂太政官牒文』」高野山大学
論叢 第三二卷 一九九六年二月 七一—一三六頁。

○論文

「天台宗伝来の『不空三蔵表制集』について」『密教文化研究所紀要』九号 一九九五年二月 一—四三頁。

「往生伝にみられる合殺について——『理趣経』付加句の典拠をめぐって——」『印度学仏教学研究』四四卷二号 一九九六年三月 一五九—一六三頁。

「延暦の遣唐使をめぐる一・二の問題」『高野山大学大学院研究紀要』創刊号（出稿中）

「御遺告の成立過程——附・御遺告項目対照表一・二——」『密教学会報』三五号 一九九六年三月 二四—七六頁。

「『不空三蔵表制集』の写本をめぐる」『宗教研究』三〇七号 一九九六年三月 二六—二六三頁。

○口頭発表

「弘法大師の家系について」密教講演会（密教文化研究所主催）一九九五年二月。

乾 仁志

○論文

「Kriyasamgraha 所説の金剛界曼荼羅」『印度学仏教学研究』四四卷一号 一九九五年二月 三四—三六六頁。

「『初会金剛頂経』所説のマンダラについて（前）」『高野山大学密教文化研究所紀要』九号 一九九五年二月 一三三—一五八頁。

○口頭発表

「『初会金剛頂経』所説の四印について」第二八回日本密教学会 一九九

五年一〇月三日。

森 雅秀

○著作

「ネパール国立古文書館所蔵『デーヴィーマーハートミヤ』絵面集」ユネスコ東アジア文化研究センター（財団法人東洋文庫附置）一九九五年四月。（森喜子と共著）

○論文

「インド密教におけるプラティシユター」『高野山大学密教文化研究所紀要』九号 一九九五年二月二七—六五頁。

「インド密教におけるプラティシユターの構造」『印度学仏教学研究』四四卷二号 一九九六年三月一五九—一六三頁。

「パーラ朝の文殊の図像学的特徴」『高野山大学論叢』三一巻 一九九六年三月 五五—九八頁。

○口頭発表

「インド密教におけるプラティシユター」日本印度学仏教学会第四六回學術大会 一九九五年六月。

「『完成せるヨーガの環』の成立に関する一考察」密教図像学会第一五回學術大会 一九九五年一月。

下松 徹

○論文

「密教美術」『密教を知るためのブックガイド』法蔵館 一九九五年一月 二二八—二四九頁。

「仁王経法と五大力曼荼羅」『高野山大学密教文化研究所紀要』九号 一

九四五年二月 四五―七五頁。

「仁王経図像の伝来―仁王経五方諸尊図を中心として―」『京都国立博物館仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書』第二六冊（『研究発表と座談会 明王の図像』一九九六年一月 五―一〇頁、および『同書』座談会「明王の図像」二一―三三頁、英文レジュメiii―iv頁。
「五大力菩薩の曼荼羅について―仁王経曼荼羅の二形態―」『印度学仏教学研究』四四卷二号 一九九六年三月 七五―七五六頁。

○口頭発表

「定印弥勒像の図像学的考察」平成七年度第四回密教文化研究所學術講演会 一九九五年一二月。

○その他

平成七年度科学研究費〈美術史〉奨励研究(A)採択。研究課題名「定印上に宝塔を載せる弥勒如来像の研究」。

平成七年度寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

左掲の寄贈図書及び交換誌は平成七年四月より平成八年三月末までの間に登録したものです。御寄贈主の諸機関ならびに諸氏には篤く御礼申し上げます。当研究所の一層の図書充実のために今後とも御協力と御支援をお願い申し上げます。

寄贈図書

○『大山公淳先徳聞書集成』第二卷 大山公淳和尚報恩刊行会編
(東方出版 平成7年7月) 編者殿

○『観善和尚著作集』第五卷 蓮生観善著

(善通寺 平成7年12月) 善通寺教学振興会殿

○『紀伊国金石文集成』続編 巽三郎「ほか」編著

(巽三郎 平成7年10月) 編者殿

○『紀州史絵物語』歴史資料としての絵画作品 和歌山県立博物館編

(和歌山県立博物館 平成6年10月) 編者殿

○『紀州徳川家陶磁の美』和歌山県立博物館編

(和歌山県立博物館 平成7年9月) 編者殿

○『きのくにの歩み』人々の生活と文化 和歌山県立博物館編

(和歌山県立博物館 平成7年9月) 編者殿

○『きのくにの国宝』和歌山県立博物館編

(和歌山県立博物館 平成6年8月) 編者殿

○『改訂版』行政責務と国民課題』同和問題解決への結集

和歌山県同和委員会編 (和歌山県同和委員会 昭和62年3月) 編者殿

○『空海と智の構造』村上保壽著

(東方出版 平成8年2月) 著者殿

○『高野山大学論叢』第三〇卷 高野山大学編

(高野山大学 平成7年2月) 編者殿

○『高野山大学論叢』 第三二巻 高野山大学編

(高野山大学 平成8年2月) 編者殿

○『コスモス・シリーズ』 第四〇回研究会議報告

現代における宗教の役割研究会編

(現代における宗教の役割研究会 平成6年12月) 編者殿

○『コスモス・シリーズ』 第四一回研究会議報告

現代における宗教の役割研究会編

(現代における宗教の役割研究会 平成7年12月) 編者殿

○『業論』への取り組み

(同和問題に関する真言宗四宗派連絡協議会 平成3年6月)

高野山真言宗同和局殿

○『宗団に於ける差別事象に関する報告』

(高野山真言宗同和局 昭和61年6月) 高野山真言宗同和局殿

○『小・中・高校生作文集』 九 よみがえった笑顔

(和歌山県同和委員会 昭和60年3月) 和歌山県同和委員会殿

○『小・中・高校生作文集』 一一 すなおに

(和歌山県同和委員会 昭和62年3月) 和歌山県同和委員会殿

○『小・中・高校生作文集』 一六 ともに生きる

(和歌山県同和委員会 平成4年3月) 和歌山県同和委員会殿

○『梵藏漢対照初会金剛頂経の研究』 梵本校訂篇下 堀内寛仁編著

(高野山大学密教文化研究所 平成元年3月) 高野山大学殿

○『神道古典研究所紀要』 第一号 神道古典研究所編

(神道大系編纂会 平成7年3月) 神道大系編纂会殿

○『持明院流の伝承』 竹内崇峯著

(持明院 平成7年3月) 持明院殿

○『大学と同和教育』 部落問題研究所編

(部落問題研究所出版部 昭和58年5月) 編者殿

○『チベット曼荼羅と仏たち』展図録』 ようこそチベットの天空へ

松長有慶解説、海江田義広編、小西敏機撮影 (ミュージアム知覧 平成7年4月) 松長有慶殿

○『定本弘法大師全集』 首巻 弘法大師著作研究会編纂

(高野山大学密教文化研究所 平成8年1月) 編纂者殿

○『定本弘法大師全集』 第九巻 弘法大師著作研究会編纂

(高野山大学密教文化研究所 平成7年11月) 編纂者殿

○『トーク&ディスカッション』『東西の死生観』をめぐって』

仏教大学総合研究所編著 (四恩社 平成7年3月) 編著者殿

○『同和教育資料』 第一三集 和歌山県教育庁学校教育課編

(和歌山県教育庁学校教育課 昭和62年3月) 編者殿

○『同和教育資料』 第一四集 和歌山県教育庁学校教育課編

(和歌山県教育庁学校教育課 昭和63年3月) 編者殿

○『同和教育資料』 第一八集 和歌山県教育庁学校教育課編

(和歌山県教育庁学校教育課 平成4年3月) 編者殿

○『同和教育資料』 同和教育をすすめるために

和歌山県教育庁学校教育課編

(和歌山県教育庁学校教育課 昭和62年3月) 編者殿

○『同和局のとりくみ』

(高野山真言宗同和局) 高野山真言宗同和局殿

○第二回同和研修会講演記録『問われる宗教者の姿勢』 田村正男著

(全日本仏教会) 全日本仏教会殿

○『同和推進資料』 四 『性霊集』における「施陀羅」問題について

(高野山真言宗同和局 平成3年3月) 高野山真言宗同和局殿

○『ハイデッガーの哲学と日本』 川原栄峰著

(高野山大学 平成7年3月) 高野山大学殿

○『橋本市史』 上巻 橋本市史編さん委員会編

(橋本市役所 昭和49年3月) 橋本市役所殿

○『橋本市史』 中巻 橋本市史編さん委員会編

(橋本市役所 昭和49年3月) 橋本市役所殿

○『橋本市史』 下巻 橋本市史編さん委員会編

(橋本市役所 昭和50年3月) 橋本市役所殿

○『八代將軍吉宗と紀州徳川家』 和歌山県立博物館編

(和歌山県立博物館 平成7年4月) 編者殿

○『批評理論とアメリカ文学』 検証と読解 中央大学人文科学研究所編

(中央大学出版部 平成7年3月) 編者殿

○『仏教經典における施陀羅の用例(覚え書)』 氏家寛勝著

(氏家寛勝) 著者殿

○『豊山長谷寺拾遺』 第一輯 元興寺文化財研究所編

(長谷寺文化財等保存調査委員会 平成6年5月) 長谷寺殿

○『仏教經典における施陀羅の用例(覚え書)』 氏家寛勝著

(氏家寛勝) 著者殿

○『豊山長谷寺拾遺』 第一輯 元興寺文化財研究所編

(長谷寺文化財等保存調査委員会 平成6年5月) 長谷寺殿

○『部落解放』 第二二〇号 部落解放研究所編

(解放出版社 昭和59年11月) 高野山真言宗同和局殿

- 『部落解放』 第二三二号 部落解放研究所編
 (解放出版社 昭和59年12月) 高野山真言宗同和局殿
 発行者殿
- 『平凡社大百科事典』 全一六卷
 (平凡社 昭和59年11~60年6月) 二宮吉彦殿
 発行者殿
- 『香港・広州の思い出』 福原登喜著
 (天理大学おやさと研究所 平成7年1月) 天理大学おやさと研究所殿
 発行者殿
- 『まんが聖徳太子』 さいわい徹脚本・画
 (叡福寺 平成7年1月) 叡福寺殿
 発行者殿
- 『密教を知るためのブックガイド』 松長有慶編
 (法蔵館 平成7年11月) 法蔵館殿
 発行者殿
- 『南アジア、東南アジアにおける宗教、儀礼、社会』 石井溥編
 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 平成7年3月)
 森雅秀殿
 発行者殿
- 『輪廻の論証』 仏教論理学派による唯物論批判 生井智紹著
 (東方出版 平成8年2月) 著者殿
 発行者殿
- Collett cox, *Disputed Dharmas Early Buddhist Theories on Existence*. Tokyo :
 The International Institute for Buddhist studies, 1995.
 発行者殿
- Institute of Buddhist Studies, *Pacific World, New Series ; No. 9*. Berkeley :
 Institute of Buddhist studies, 1993.
 発行者殿
- Musashi Tachikawa [et al.], *Five Hundred Buddhist Deities*. Osaka : National
 Museum of Ethnology, 1995.
 発行者殿
- Morichi Yamazaki, Yumi Ousaka, *Shyogoda : Pada Index and Reverse Pada
 Index*. Tokyo : The Chuo Academic Research Institute, 1995.
 発行者殿
- Oyasato Research Institute Tenri University, *Tenri Journal of Religion ;
 No.23*. Tenri : Tenri University Press, 1995.
 発行者殿
- Morichi Yamazaki, Yumi Ousaka, *Utamarikaya : Pada Index and Reverse
 Pada Index*. Tokyo : The Chuo Academic Research Institute, 1995.
 発行者殿
- Institute of Buddhist Studies, *Pacific World, New Series ; No.10*. Berkeley :
 Institute of Buddhist Studies, 1994.
 発行者殿
- Revista de Estudios Budistas, *Revista de Estudios Budistas ; No.9*. Buenos
 Aires : Asociacion Latinoamericana de Estudios Budistas, 1995.
 発行者殿

○International Research Center for Japanese studies, *Nichiniken Japan Review*, No.6, Kyoto: The International Research Center for Japanese Studies, 1995.

発行者殿

○Lozang Jampal, *Tibeto - Sanskrit Index to Abhidhanavivacana of Svīharasena*, Narita: Naritasan Shinshoji, 1995.
Naritasan Institute for Buddhist Studies 殿

○Masahide Mori, Yoshiko Mori, Rolf W. Giebel, *Devimahatmya Paintings: Preserved at the National Archives, Kahramandu, Tokyo: The Centre for East Asian Cultural Studies for Unesco* 1995.

Masahide Mori 殿

交換寄贈雑誌

- 1 あふひ・A O I 〈第1号〉
京都産業大学日本文化研究所編 (同研究所・平成7年9月)
- 2 アジア・アフリカ文化研究所研究年報 〈第29号(一九九四年度)〉
東洋大学アジア・アフリカ文化研究所編 (同研究所・平成7年3月)
- 3 インド古典研究 〈7〉
成田山新勝寺編 (同寺・平成7年10月)

4 叡山学院研究紀要 〈第18号〉

叡山学院編 (同学院・平成7年12月)

5 大倉山夏季公開講座 〈4(平成6年度)〉

大倉精神文化研究所編 (同研究所・平成7年3月)

6 大倉山論集 〈第37輯、第38輯〉

大倉精神文化研究所編 (同研究所・平成7年3月、平成7年12月)

7 大谷大学真宗総合研究所研究紀要 〈第12号〉

大谷大学真宗総合研究所編 (同研究所・平成7年3月)

8 神奈川大学日本常民文化研究所調査報告 〈第18集〉

神奈川大学日本常民文化研究所編 (平凡社・平成7年6月)

9 九州大谷研究紀要 〈第22号〉

九州大谷学会編 (九州大谷短期大学内九州大谷学会・平成7年10月)

10 教化研修 〈第38号〉

曹洞宗教化研修所編 (同研究所・平成7年3月)

11 京都女子大学宗教・文化研究所研究紀要 〈第8号〉

京都女子大学宗教・文化研究所編 (同研究所・平成7年3月)

12 紀州経済史文化史研究所紀要 〈第15号、第15号別冊〉

和歌山大学紀州経済史文化史研究所編 (同研究所・平成7年3月)

13 光華女子短期大学研究紀要 〈第33集〉

光華女子短期大学編 (同短期大学・平成7年12月)

14 光華女子大学研究紀要 〈第33号〉

光華女子大学編 (同大学・平成7年12月)

15 皇学館大学神道研究所紀要 〈第11輯〉

皇学館大学神道研究所編 (同研究所・平成7年3月)

16 高野山霊宝館研究紀要 〈創刊号〉

高野山霊宝館編 (同館・平成7年3月)

17 国際日本文学研究会集會會議録 〈第18回(一九九四)〉

国文学研究資料館編 (同資料館・平成7年10月)

18 国際文化研究所紀要 〈創刊号〉

「国際文化研究所紀要」編集委員会編

19 国土館大学文学部人文学会紀要 〈第28号〉

(城西大学国際文化研究所・平成7年3月)

- 20 信愛紀要〈第35号〉
国士館大学文学部人文学会編（同会・平成7年10月）
和歌山信愛女子短期大学学術研究会編（同研究会・平成7年3月）
- 21 真宗文化〈第4号〉
光華女子大学・光華女子短期大学真宗文化研究所編
（同研究所・平成7年5月）
- 22 人文研紀要〈第22号、第23号、第24号〉
中央大学人文科学研究所編（同研究所・平成7年9月）
- 23 人文研ブックレット〈1 日本人の他界観〉
谷川健一著（中央大学人文科学研究所・平成5年6月）
- 24 人文研ブックレット〈2 伝記ジャンル 東と西〉
佐伯彰一著（中央大学人文科学研究所・平成5年8月）
魯迅研究の今昔
檜山久雄著（中央大学人文科学研究所・平成7年8月）
- 25 人文研ブックレット〈3 魯迅研究の今昔〉
魯迅研究の今昔
檜山久雄著（中央大学人文科学研究所・平成7年8月）
- 26 西山学報〈第43号〉
西山短期大学編（同短期大学・平成7年5月）
- 27 禅研究所紀要〈第23号、第24号〉
愛知学院大学禅研究所編（同研究所・平成7年3月、平成8年3月）
- 27 普通寺教学振興会紀要〈第2号〉
普通寺教学振興会編（同振興会・平成7年12月）
- 28 中央学術研究所紀要〈第24号〉
中央学術研究所編（同研究所・平成7年12月）
- 29 中央大学人文科学研究所年報〈第16号（一九九四）〉
中央大学人文科学研究所編（同研究所・平成7年3月）
- 30 筑紫女学園短期大学紀要〈第31号〉
筑紫女学園短期大学編（同短期大学・平成8年1月）
- 31 筑紫女学園大学紀要〈第8号〉
- 32 天台学報〈第37号〉
筑紫女学園大学編（同大学・平成8年1月）
- 32 天台学会編（同学会・平成7年10月）
- 33 天理大学おやさと研究所年報〈第1号（一九九四）〉
天理大学おやさと研究所編（同研究所・平成7年3月）
- 34 東京成徳大学研究紀要〈第2号〉
東京成徳大学編（同大学・平成7年3月）
- 35 東京大学史料編纂所研究紀要〈第5号〉
東京大学史料編纂所編（同編纂所・平成7年3月）
- 36 東京大学史料編纂所報〈第29号（一九九三年度）〉
東京大学史料編纂所編（同編纂所・平成7年3月）
- 37 東西南北（一九九四、一九九五）
和光大学総合文化研究所編（同研究所・平成7年3月、平成8年1月）
- 38 東北大学日本文化研究所研究報告〈第31集〉
東北大学文学部附属日本文化研究施設編（同研究施設・平成7年3月）
- 39 東洋学研究〈第1号、第28号、第31、32号〉
東洋学研究…（英文）
東洋大学東洋学研究所編（同研究所・昭和40年11、平成7年3月）
- 40 東洋学研究…（英文）
〈第1号、第2号（Toyo University Asian Studies No. 1,2）〉
東洋大学東洋学研究所編（同研究所・昭和36年、昭和39年）
- 41 東洋学研究〈第34卷第1号〉
東洋哲学研究所編（同研究所・平成7年5月）
- 42 東洋学論叢〈20印度哲学科篇：河村孝照教授退任記念号〉
東洋大学文学部編（同大学部・平成7年3月）
- 43 東洋大学中国哲学文学科紀要〈第3号〉
東洋大学文学部中国哲学文学科編（同大文学部・平成7年3月）
- 44 東洋の思想と宗教〈第12号〉

- 45 成田山仏教研究所紀要〈第18号〉
早稲田大学東洋哲学会編（同学会・平成7年3月）
- 46 日文研〈第12号、13号〉
成田山仏教研究所編（同研究所・平成7年3月）
「日文研」編集委員編
- 47 日本研究〈第11集、第12集〉
国際日本文化研究センター編
（国際日本文化研究センター・平成7年2月、平成7年7月）
- 48 日本語と日本語教育〈第23号〉
慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター編
（同研究センター・平成6年9月、平成7年6月）
- 49 日本文化研究所紀要〈第1号〉
亜細亜大学日本文化研究所編（同研究所・平成7年1月）
- 50 比較文化〈第9号〉
中央学院大学比較文化研究所編（同研究所・平成7年3月）
- 51 福井県立大学論集〈第6号、第7号〉
「福井県立大学論集」編集委員会編
- 52 仏教学研究〈第50号、第51号〉
（福井県立大学・平成7年2月、平成7年7月）
- 53 仏教研究〈第24号〉
国際仏教徒協会編（同協会・平成7年3月）
- 54 仏教大学総合研究所紀要〈第2号、第2号別冊〉
仏教大学総合研究所編（同研究所・平成7年3月）
- 55 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書〈画像蒐成3〉
仏教美術研究上野記念財団助成研究会編（同研究会・平成7年3月）
- 56 仏教文化〈第34号、第35号〉
東京大学仏教青年会編（同青年会・平成7年12月、平成8年2月）
- 57 文研会紀要〈第6号、第7号〉
愛知学院大学院文学研究科文研会編
（同文研会・平成7年3月、平成8年3月）
- 58 平和と宗教〈第14号〉
庭野平和財団平和研究会編（庭野平和財団・平成7年12月）
- 59 北陸宗敎文化〈第7号〉
北陸宗敎文化学会編（同学会・平成7年3月）
- 60 密敎学〈第30号、第31号〉
種智院大学密敎学会編（同学会・平成6年3月、平成7年3月）
- 61 民具マンスリー〈第28巻 1号、12号〉
神奈川大学日本常民文化研究所編
（同研究所・平成7年4月、平成8年3月）
- 62 龍谷大学仏敎学研究室年報〈第8号〉
龍谷大学仏敎学研究室編（同研究室・平成7年3月）
- 63 立正大学人文科学研究所年報〈第31号、第32号〉
立正大学人文科学研究所編（同研究所・平成6年3月、平成7年3月）
- 64 歴史と民族〈12〉
神奈川大学日本常民文化研究所編（平凡社・平成7年9月）

平成八年密敎文化研究所だより

○昭和五十九年四月より、四期十二年の長きにわたり所長を勤められた松長有慶教授が、平成八年三月三十一日付をもって退任せられた。松長教授は在任中、『定本弘法大師全集』の刊行、バンングラデッシュにおける海外調査などを手がけられ、研究所内外の機構・人員の充実に多大な御尽力をい

ただいた。現在の研究所の体制はほとんど松長所長時代に整備されたものであり、深くその御苦勞を謝したい。なお、四月からは顧問として、研究所の活動に御助言をいただいている。

○四月一日付で、高木神元教授が所長に就任せられた。高木新所長は、初代中野義照所長の頃から昭和六十二年まで研究所員として所属されていたから、研究所の情勢は熟知せられている。今後の御活躍に期待したい。

○同じく四月一日付で、山陰加春夫・佐藤正伸・森雅秀の三氏が専従研究所員に、村上保壽・生井智紹・武内孝善・乾仁志・奥山直司・室町義仁・南昌宏各氏が兼任研究所員に、北原裕全氏が専任研究所員に、松長恵史氏が委託研究所員にそれぞれ就任せられた。

○今年度から「弘法大師の思想とその展開に関する研究会」のプロジェクトが発足した。山陰・佐藤・村上・武内・南各所員がメンバーで、今後三年の予定で、広く学内外の研究者・協力者を招いて研究会を開催し、その成果を公表・出版するものである。平成九年度からは別に「密教の形成と流伝に関する研究会」が、森・生井・乾・奥山・室寺各所員をメンバーとして発足する。何れも今後の展開が期待される。

○平成八年九月二日付で、竹内信夫氏が受託研究所員として受け入れられた(期間、平成八年九月二日～平成九年二月二十八日)。

密教文化研究所構成員名簿 (平成八年十月現在)

所長

專從研究所員

兼任研究所員

- 高木 神元 (文学部教授)
- 山陰加春夫 (文学部助教授)
- 佐藤 正伸 (文学部講師)
- 森 雅秀 ()
- 生井 智紹 (文学部教授)
- 村上 保壽 ()
- 乾 仁志 (文学部助教授)
- 奥山 直司 ()
- 武内 孝善 ()
- 室寺 義仁 ()
- 南 昌宏 (文学部講師)
- 北原 裕全 ()
- 松長 恵史 ()
- 松長 有慶 (文学部教授)
- 甲田 博史 ()
- 田寺 則彦 ()
- 堀畑 朝 ()
- 三星みや子 (非常勤)

【教職員人事】

- 退任 平成八年三月三十一日付
- 松長 有慶 密教文化研究所長
- 村上 保壽 専從研究所員

- 乾 仁志 専從研究所員
- 森 雅秀 専從研究所員
- 武内 孝善 兼任研究所員

- 退職 平成八年三月三十一日付
- 下松 徹 密教文化研究所助手

- 就任 平成八年四月一日付
- 高木 神元 密教文化研究所長
- 松長 有慶 密教文化研究所顧問
- 山陰加春夫 専從研究所員
- 佐藤 正伸 ()
- 森 雅秀 ()

- 生井 智紹 兼任研究所員
- 村上 保壽 ()
- 乾 仁志 ()
- 奥山 直司 ()
- 武内 孝善 ()
- 室寺 義仁 ()
- 南 昌宏 ()
- 北原 裕全 専任研究所員
- 松長 恵史 委託研究所員

- 異動 平成八年四月一日付
- 跡部 正紀 図書課書記 (密教文化研究所課書記)

高野山大学密教文化研究所規程

(総則)

第一条 この規程は、高野山大学（以下「本学」という。）学則第三九条に基づき、密教文化研究所（以下「研究所」という。）の目的及び組織等に必要なる事項を定めるものである。

(目的)

第二条 この研究所は、真言密教の蘊奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以て目的とする。

(事業)

第三条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学術交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

(研究組織)

第四条 研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
- ② 総合研究部門
- 2 基礎研究部門においては、日本及びアジア地域における密教の基礎的研究並びに基礎資料の調査研究を行う。
- 3 総合研究部門においては、密教の思想と文化並びに関連領域に

ついで総合的な比較研究を行う。

(職員組織)

第五条 研究所に次の職員を置く。

- ① 研究所長 若干名
- ② 研究所員 若干名
- ③ 研究員 若干名
- ④ 第九条に規定する事務職員 若干名

(研究所長)

第六条 研究所長は、本学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

2 研究所長の任期は三年とし、再任を妨げない。

3 研究所長は、学長の下に研究所に関する事項を掌理する。

(研究所員)

第七条 研究所員は、本学専任の教育職員の中から、研究所長が文学部長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。

2 研究所員を専任研究所員及び兼任研究所員とする。

3 専任研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。

4 専任研究所員の任期は二年とし、再任を妨げない。

5 専任研究所員の担当する授業時間数等については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。

6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究又は事業に従事する。

7 兼任研究所員の任期は一年とし、再任を妨げない。

(研究員)

第八条 研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。

報

3 専任研究員の任期は一年とし、本学が必要と認める場合には、再契約をすることがある。

4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。

5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。

6 委託研究員の委託期間は一年とし、本学が必要と認める場合には、再委嘱をすることがある。

7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究を行う。

8 受託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

(事務組織)

第九条 研究所の事務は、研究所課がつかさどる。

2 研究所課に課長、専門員及びその他の事務職員を置く。

3 事務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。

4 専門員は、研究所長及び研究所課長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分野の業務を直接処理する。

(運営)

第一〇条 研究所の運営を協議するために研究所に協議会を置く。

2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

(顧問及び賛助員)

第一一条 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。

2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

(学則等の準用)

第二二条 この規程に定めるものほか、研究所の運営に関し必要な事項は、本学の学則及びその他の本学の諸規程を準用する。

(規程の改廃)

第一三条 この規程の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

一 この規程は昭和三三年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五一年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五九年四月一日より施行する。

一 この規程は平成二年二月一六日より施行する。

一 この規程は平成三年二月一八日より施行する。

一 この規程は平成三年四月一日より施行する。

一 この規程は平成五年四月一日より施行する。

一 この規程は平成七年五月一日施行し、平成七年四月一日より適用する。

一 この規程は平成八年四月一七日施行し、平成八年四月一日より適用する。

執筆者紹介（掲載順）

村上 保壽 密教文化研究所兼任研究所員

（文学部教授）

山陰加 春夫 密教文化研究所専従研究所員

（文学部助教）

佐藤 正伸 密教文化研究所専従研究所員

（文学部講師）

武内 孝善 密教文化研究所兼任研究所員

（文学部助教）

奥山 直司 密教文化研究所兼任研究所員

（文学部助教）

森 雅秀 密教文化研究所専従研究所員

（文学部講師）

乾 仁志 密教文化研究所兼任研究所員

（文学部助教）

編集後記

密教文化研究所より『紀要』の第十号をお届けいたします。

当研究所では、高木神元先生が平成八年四月より新所長に就任されました。前任の松長先生は離任後、研究所顧問に転じておられます。所長の新任にともない、研究所では和多高野山大学学長の意向を受けた新規研究事業が二本企図されており、そのための新体制を構えています。一つには〈弘法大師の思想とその展開に関する研究〉であり、すでに平成八年度初めにその緒に就いています。平成九年度からは、現在準備段階にある〈密教の形成と流伝に関する研究〉が本格始動いたします。ともに三か年期中、学内外の研究者に囑して多角的な探究をめざす総合研究プロジェクトです。本号に寄稿された方々はそのメンバーであり、渺々しくその成果の一部を含んだ稿もあります。今後とも両分野からこの総合研究に関連する成果が本紙上において随時公表されることとなります。ご期待ください。

（北原記）

高野山大学密教文化研究所紀要 第十号

平成九年一月二十一日 印刷

平成九年一月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 高木 神元

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学

電話 (0736) 561253 電六四八〇三

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七―三三―一

電話 (06) 5481571、5481573 電五五三